**省エネ基準適否チェックリスト【６・７地域】**

＜建築物省エネ法第10条に基づく省エネ基準適合義務に関する事項＞

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 物 件 名 |  |  |  | 建設地の市町村名 |  |  |  |
| 設計者 資格・氏名 |  | 　　　級建築士　第　　　　　　号・ |  |

１．断熱材の熱抵抗Ｒ

○適合確認欄は，熱抵抗値Ｒが基準値以上であれば，適合に✓，該当部位が無い場合は，該当無に✓してください。

○「断熱材の製品名･工法と厚さ」及び「熱抵抗Ｒ」を記入の上，基準値以上かどうかについて適合確認してください

○１つの部位に複数の仕様がある場合は，性能の低い仕様（熱抵抗Ｒが小さい方）について記入してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 部　位 | 断熱材の製品名･工法，その厚さ | 熱抵抗Ｒ(㎡･K/W) | 断熱工法の基準値↓いずれかに✓ | 適否確認 |
| 適合 | 該当無 |
| 屋根 | 製品名（又は断熱材の種類） | 厚さ | Ｒ | □ 軸組充填:Ｒ≧4.6□ 枠組充填:Ｒ≧4.6□ 外張断熱:Ｒ≧4.0 | □ | □ |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 工法： |  |  | mm | (㎡･K/W) |
| 天井 | 製品名（又は断熱材の種類） | 厚さ | Ｒ | □ 軸組充填:Ｒ≧4.0□ 枠組充填:Ｒ≧4.0□ 外張断熱:Ｒ≧4.0 | □ | □ |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 工法： |  |  | mm | (㎡･K/W) |
| 壁 | 製品名（又は断熱材の種類） | 厚さ | Ｒ | □ 軸組充填:Ｒ≧2.2□ 枠組充填:Ｒ≧2.3□ 外張断熱:Ｒ≧1.7 | □ | □ |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 工法： |  |  | mm | (㎡･K/W) |
| 床(外気に接する部分) | 製品名（又は断熱材の種類） | 厚さ | Ｒ | □ 軸組充填:Ｒ≧3.3□ 枠組充填:Ｒ≧3.1□ 外張断熱:Ｒ≧2.5 | □ | □ |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 工法： |  |  | mm | (㎡･K/W) |
| 床(その他の部分) | 製品名（又は断熱材の種類） | 厚さ | Ｒ | □ 軸組充填:Ｒ≧2.2□ 枠組充填:Ｒ≧2.0 | □ | □ |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 工法： |  |  | mm | (㎡･K/W) |
| 基礎壁(※)(外気に接する部分) | 製品名（又は断熱材の種類） | 厚さ | Ｒ | □ 軸組充填:Ｒ≧1.7□ 枠組充填:Ｒ≧1.7□ 外張断熱:Ｒ≧1.7 | □ | □ |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 工法： |  |  | mm | (㎡･K/W) |
| 基礎壁(※)(その他の部分) | 製品名（又は断熱材の種類） | 厚さ | Ｒ | □ 軸組充填:Ｒ≧0.5□ 枠組充填:Ｒ≧0.5 | □ | □ |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 工法： |  |  | mm | (㎡･K/W) |

※ 玄関，勝手口等の土間床部分の断熱を省略する場合には，当該部分を除く基礎壁について確認してください。

２．開口部（窓，ドア）の熱貫流率Ｕと日射遮蔽対策

○適合確認欄は，熱貫流率Ｕ及び窓の日射熱取得率ηが基準値以上であれば，適合に✓，該当部位が無い場合は，

該当無に✓してください。

○「製品名」及び「窓又はドアの熱貫流率Ｕ」「窓の日射熱取得率η(ｲｰﾀ)」を記入の上，適合確認してください。

○複数の仕様がある場合は，熱貫流率Ｕについては性能が低い仕様（熱貫流率が大きい方），日射遮蔽対策について

は窓の日射熱取得率ηが大きい仕様を記入してください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 部位 | 製 品 名 | 窓又はドアの熱貫流率Ｕ（Ｗ/(㎡･Ｋ)） | 窓の日射熱取得率η | 基準値 | 適合確認 |
| 熱貫流率 | 日射遮蔽対策 | 適合 | 該当無 |
| 窓 | 製品名（又は建具とガラスの種類） |  |  |  |  | Ｕ≦4.7 | 有効な庇，軒等が**ある**所に設置する窓 | □ | □ |
|  |  |  |
| 製品名（又は建具とガラスの種類） |  |  |  |  |  |  | 有効な庇，軒等が**ない**所に設置する窓η≦0.59 | □ | □ |
|  |  |  |
| ドア | 製品名（又は枠と戸の種類） |  |  |  |  | Ｕ≦4.7 |  | □ | □ |
|  |  |  |

３．設備機器の仕様

注意）下表に記載のない設備機器（床暖房など）を設置する場合，この表は使用できません。

　　　この場合，省エネルギー消費計算プログラムにより設置の適否（省エネ適合性判定）を確認してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 暖冷房設備 | □ 住戸全体を暖冷房の場合，ダクト式セントラル空調機で，ヒートポンプを熱源とするもの |
| □ 居室のみを暖冷房（暖房と冷房の両方について，以下のいずれかを選択） |
|  | 暖房 | □ パネルラジエーターで以下のいずれかを熱源とし，かつ配管に断熱被服があるもの |
|  | □ ① 石油潜熱回収型温水暖房機【エコフィール】の熱効率８７.８％以上のもの□ ② ガス潜熱回収型温水暖房機【エコジョーズ】の熱効率８２.５％以上のもの□ ③ 電気ヒートポンプ温水暖房機（フロン系冷媒に限る） |
| □ ルームエアコンディショナーで，エネルギー消費効率の区分が(い)又は(ろ)のもの |
| 冷房 | □ ルームエアコンディショナーで，エネルギー消費効率の区分が(い)又は(ろ)のもの |
| □ 設置しない(※) |  |
| 換気設備右記のいずれかを選択 | □ ダクト式第一種換気設備(熱交換なし)で、ダクト内径が75ｍｍ以上で、かつ直流電動機のもの□ ダクト式第二種 又は 第三種換気設備で、 ダクト内径が75ｍｍ以上のもの□ 壁付け式第二種 又は 第三種換気設備のもの |
| 給湯設備右記のいずれかを選択 | □ 石油潜熱回収型給湯機【エコフィール】のモード熱効率７７.８％以上のもの□ ガス潜熱回収型給湯機【エコジョーズ】のモード熱効率７８.２％以上のもの□ 電気ヒートポンプ給湯機【エコキュート】を使用 |
| 照明設備 | □ 非居室の全ての照明に，ＬＥＤ又は蛍光灯を設置 |

※ 暖房を設置し冷房を設置しない場合は，「居室のみを暖冷房」に✓で暖房機器を選択，「設置しない」に✓

で右欄に「冷房のみ」と記載してください。

【　省エネ基準への適合確認のプロセス　】

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| １．断熱材の熱抵抗Ｒ |  | 全て「適合」又は「該当無」を選択 |  | 省エネ基準**「適合」** |  | 省エネ基準適否 |
| ２．開口部(窓,ドア)の熱貫流率Ｕ　　と日射遮蔽対策 |  |  | □ 適合 |
|  |  |  |  |  | □ 不適合 |
| ３．設備機器の仕様 |  | 全ていずれかの仕様を選択 |  |  |

**省エネ基準適否チェックリスト【８地域】**

＜建築物省エネ法第10条に基づく省エネ基準適合義務に関する事項＞

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 物 件 名 |  |  |  | 建設地の市町村名 |  |  |  |
| 設計者 資格・氏名 |  | 　　　級建築士　第　　　　　　号・ |  |

１．断熱材の熱抵抗Ｒ

○適合確認欄は，熱抵抗値Ｒが基準値以上であれば，適合に✓，該当部位が無い場合は，該当無に✓してください。

○「断熱材の製品名･工法と厚さ」及び「熱抵抗Ｒ」を記入の上，基準値以上かどうかについて適合確認してください

○１つの部位に複数の仕様がある場合は，性能の低い仕様（熱抵抗Ｒが小さい方）について記入してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 部　位 | 断熱材の製品名･工法，その厚さ | 熱抵抗Ｒ(㎡･K/W) | 断熱工法の基準値↓いずれかに✓ | 適否確認 |
| 適合 | 該当無 |
| □　木　造 | 屋　根 | 製品名（又は断熱材の種類） | 厚さ | Ｒ | □ 軸組充填:Ｒ≧0.96□ 枠組充填:Ｒ≧0.96□ 外張断熱:Ｒ≧0.78 | □ | □ |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 工法： |  |  | mm | (㎡･K/W) |
| 天　井 | 製品名（又は断熱材の種類） | 厚さ | Ｒ | □ 軸組充填:Ｒ≧0.78□ 枠組充填:Ｒ≧0.89□ 外張断熱:Ｒ≧0.78 | □ | □ |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 工法： |  |  | mm | (㎡･K/W) |
| □　ＲＣ造 | 屋根又は天井 | 製品名（又は断熱材の種類） | 厚さ | Ｒ | □ 軸組充填:Ｒ≧0.7□ 枠組充填:Ｒ≧0.6□ 外張断熱:Ｒ≧0.6 | □ | □ |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 工法： |  |  | mm | (㎡･K/W) |

※ 玄関，勝手口等の土間床部分の断熱を省略する場合には，当該部分を除く基礎壁について確認してください。

２．開口部（窓，ドア）の熱貫流率Ｕと日射遮蔽対策

○適合確認欄は，窓の日射熱取得率ηが基準値以上であれば，適合に✓，該当部位が無い場合は，該当無に✓してくだ

さい。

○「製品名」及び「窓の日射熱取得率η(ｲｰﾀ)」を記入の上，適合確認してください。

○複数の仕様がある場合は，日射遮蔽対策については窓の日射熱取得率ηが大きい仕様を記入してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 部位 | 製 品 名 | 窓の日射熱取得率η | 基準値 | 適合確認 |
| 日射遮蔽対策 | 適合 | 該当無 |
| 窓 | 製品名（又は建具とガラスの種類） |  | 付属部材，有効な庇，軒等が**ある**所に設置する窓 | □ | □ |
|  |  |  |
| 製品名（又は建具とガラスの種類） |  |  |  | 付属部材，有効な庇，軒等が**ない**所に設置する窓η≦0.53 | □ | □ |
|  |  |  |  |  |

３．設備機器の仕様

注意）下表に記載のない設備機器を設置する場合，この表は使用できません。

　　　この場合，省エネルギー消費計算プログラムにより設置の適否（省エネ適合性判定）を確認してください。

　　　冷房設備は，冷房する範囲を選択したのち，各々についていずれかを選択してください。

　　　冷房設備を設置しない場合は，「設置しない」をチェックしてください。

|  |  |
| --- | --- |
| 冷房設備 | □ 住戸全体を冷房　→　□ ダクト式セントラル空調機で，ヒートポンプを熱源とするもの |
| □ 居室のみを冷房→　□ ルームエアコンディショナーで，エネルギー消費効率の区分が(い)又は(ろ)のもの |
| □ 設置しない |
| 換気設備右記のいずれかを選択 | □ ダクト式第一種換気設備(熱交換なし)で、ダクト内径が75ｍｍ以上で、かつ直流電動機のもの□ ダクト式第二種 又は 第三種換気設備で、 ダクト内径が75ｍｍ以上のもの□ 壁付け式第二種 又は 第三種換気設備のもの |
| 給湯設備右記のいずれかを選択 | □ 石油潜熱回収型給湯機【エコフィール】のモード熱効率77.8％以上のもの□ ガス潜熱回収型給湯機【エコジョーズ】のモード熱効率78.2％以上のもの□ 電気ヒートポンプ給湯機【エコキュート】 |
| 照明設備 | □ 非居室の全ての照明に，ＬＥＤ又は蛍光灯を設置 |

【　省エネ基準への適合確認のプロセス　】

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| １．断熱材の熱抵抗Ｒ |  | 確認する構造の基準に全て「適合」又は「該当無」を選択 |  | 省エネ基準**「適合」** |  | 省エネ基準適否 |
|  |  |  |  |  |
| ２．開口部(窓)の仕様 |  | 最低１つの仕様を選択 |  |  | □ 適合 |
|  |  |  |  |  | □ 不適合 |
| ３．設備機器の仕様 |  | 全ていずれかの仕様を選択 |  |  |